

## 論文内容の要旨

氏名	山本 孝一	専攻名	情報工学専攻	学籍番号	02TA613G
論文題目	大学における携帯電話を利用したメール送信システムの構築				

私は短期大学に勤務しているが、学生との連絡は旧来の掲示板では、時間がかかったり、見落とす学生がいたりして、うまく機能しない場合が多い。一方、最近では殆どの学生が携帯電話やPHSを所持し、メールでの情報交換を行っている。

そこで、大学から学生に連絡を行う場合も、最近では携帯電話の利用が始まっている。しかし、ここで問題がいくつか発生する。第1に、学生の携帯メールアドレスの管理である。メールアドレスを一元管理しておかないと、アドレス変更時に学生は多くの部署にアドレスを通知しなければならない。第2に、メールアドレスと学生との対応を如何に簡単に、しかし利用しやすい状態で行うかである。第3に、学生は頻繁に携帯メールアドレスを変更するが、その場合に学生に何らかの方法で新しいメールアドレスを教えてもらうことが必要となる。如何に新しいアドレスを取得して反映するかである。

そこで、データベースと連携して学生とメールアドレスを関連させ、送信者側は学生のメールアドレスを直接知る必要をなくし、学生を選択するだけで送信できる要件をみたし、一方学生側はアドレスを変更した場合、Webにアクセスして簡単に新しいアドレスを通知してデータベースを更新する要件をみたすシステムを構築した。

具体的にはメールサーバ上にLAMP環境を用意し、学生の学籍番号・氏名・学年・クラス・所属ゼミナール・退学情報などと、学生の携帯電話のアドレスを連携させる。それによって、教員や事務職員などの送信者側は、学生を氏名だけでなく、学年・クラス・ゼミナールなどの付加的な情報で学生を選択しメールを送ることが出来る。またどのようなメールをどの学生に送ったかを送信者宛に控えとして送信する機能もつけてある。一方、学生側からみると、アドレスを変更した場合はQRコードまたはURLで専用のWebにアクセスして認証後に用意されたメールを送るだけで、データベースのメールアドレス部分を変更できるようにした。

アドレス変更時には必ず通知処理を実行することを徹底し、このシステムを全学的に利用することにより、先に挙げた問題点を解消することができた。また、学生のメールアドレスそのものがデータベースに登録されており、教員や事務職員に直接見えないことで、個人情報保護の観点からもよい結果が得られている。